

団体名	財団法人新見美術振興財団	代表者 理事長 新中淑弘	記載者 藤井茂樹
所在地(市区町村名のみ)	新見市		
活動目的	新見市出身の洋画家・藤井哲の60年にもおよぶ画業を県内外に広く紹介するとともに、郷土作家にスポットをあて画業の顕彰を行うことを目的とする。		
団体の紹介	豊かな人間性を養い、文化的創造力や地域文化の向上を図るために設立された。特に美術品の展示・収集・調査研究・保管等を行い、併せて、美術に関する教育普及活動、美術文化の交流・発展と、広域的文化の振興を目指している。		
助成を受けての活動内容	<p>新見美術館は、開館時洋画作品の収蔵点数が少なく、設立準備時に藤井哲に依頼し、ゴヤの模写を含む代表作約40点の寄託をいただき、その後2回に分けゴヤの模写を含む60点が新見市に寄贈された。しかし、藤井哲氏は新見ゆかりの洋画家ながら新見での活動実績がないため地元でのなじみが薄い。これまで4回の展覧会を開催しているが、今回は没後の初の大遺作展となった。藤井氏は2009年4月に他界、2011年4月にはそれまで活動の拠点としていた国立市の有志が協力し素描集を刊行。その出版記念のデッサン展を国立市で開催。デッサン作品は展覧会終了後新見美術館に巡回。藤井哲氏の初期から晩年までの画業を、館所蔵作品を中心に、時代別で紹介。素描集が出版されたこともあり、晩年は油彩作品が少ないため素描画も多く公開し、藤井哲の全貌を紹介する内容の展覧会となった。</p>		
助成を受けての成果	<p>助成を受けた展覧会であったため、館収蔵作品でなく、遺族へも出品を依頼することで、充実した展覧会を開催することができ、故人を顕彰することができた。また広報印刷物を通常より印刷することができたため、前回より多くの来館者があった。また、作品を借用しているため通常は特別展扱いとなり、入館料を通常より高めに設定するが、本展では助成を受けているため通常料金のままの入館料設定にすることができた。</p>		
今後の活動の課題点	<p>今後も、多くの郷土作家を取り上げ、地域に紹介するとともに、顕彰して行きたい。</p>		
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど)	<p>TEL 0867(72)7851 http://www.city.niimi.okayama.jp/usr/art/</p>		

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。
A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可)
写真・チラシ・パンフレット(PDFもしくは、画像)等を添付していただいても結構です。